

急性期脳梗塞に対して血栓溶解療法を行う際の降圧療法についての研究

◆ 研究の対象となる方

2019 年 8 月～2024 年 9 月に脳神経内科にて急性期脳梗塞に対して血栓溶解療法を受けられた方

◆ 目的・方法

脳梗塞は脳の血管が詰まり、脳の細胞が障害されることで多彩な障害を来す病気です。詰まった血栓を溶かし再開通させる治療(血栓溶解療法)は、発症間もない脳梗塞に対して有効とされています。しかし、血圧上昇を伴う場合は頭蓋内の出血のリスクがあり禁忌とされています。現在、血圧を下げてから血栓溶解療法を行う方法が広く採用されていますが、脳梗塞の際に血圧を下げると脳への血流が低下し、脳の障害を助長する可能性があります。今回の研究では当院で血栓溶解療法を行った際に血圧を下げる必要があった方の予後と、血圧を下げる必要がなかった方と比較して、血圧を下げる方法の効果を検討します。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患、血圧、画像検査、神経症状など診療の中で得られた情報を使用します。
この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。
本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 脳神経内科 医師 原 佑碩 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	--

以上